



IMAGINE
ROTARY

＜本年度クラブ会長方針＞ WEEKLY REPORT No.1594
ロータリーライフを楽しみ、
クラブの持続的成長を図ろう

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 加藤巳千彦 事務局 名古屋市中区栄4-7-10 栄第8ロイヤルビル6F
幹事 吉田 憲一 電話(052)251-0181 FAX(052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

第1868回例会

地域社会の経済発展月間
／米山月間
令和4年10月13日(木)
米山月間卓話

出席計算数 会員57名
52名中39名出席
出席率 75.00%
前々回出席率 88.75%
89.00%

例年プログラム

- ★渡辺社会奉仕委員長
- ・猿投の森法人会議員デー案内
- ★仲林親睦活動委員長
- ・家族忘年会案内

- ★吉田 憲一さん
- ・葬儀報告とお礼

- ★米山月間卓話

ロータリーソング
「ROTARY-ARY」

(歌唱なし)

ゲスト

地区米山記念奨学委員会
池田 直樹さん
(刈谷RCC)

ニコソックス

米山奨学事業にいつもご支援、ご協力いただきありがとうございます。今年度もよろしくお願いたします。

地区米山記念奨学委員会
刈谷RCC 池田 直樹さん

地区米山記念奨学委員 池田様
よつこそ大須ロータリー例会へおいで下さいました。本日は卓話よろしくお願いたします。

加藤巳千彦・藤田 澈
佐々木 功・酒井 修
丹下 富博・深谷 昭広
本日の卓話、地区米山記念奨学委員池田直樹様よろしくお願いたします。

10月5日母が亡くなりました。クラブから香典をいただきました。ありがとうございます。

岡部快園さん参拝させていただきました。ありがとうございます。岡部快雅さんありがとうございます。

福岡・芥屋ゴルフ倶楽部でプレーして来ました。バンカーが大変でした。

柴岡さんありがとうございます。木村 光徳
妻の誕生日です。横川 誠人
小澤 幸男

会長挨拶 会長 加藤巳千彦

皆さん、こんにちは。本日のゲスト、ピジターの紹介をさせていただきます。本日のゲストは、国際ロータリー第7600地区米山記念奨学委員会委員、池田直樹さんです。名古屋大須ロータリークラブの例会をお楽しみ下さい。

また、今月は米山月間でありますので、池田様におかれましては、13時から第7600地区米山奨学事業についての卓話をお願い致しております。宜しくお願いたします。

さて、本日10月13日は、世界で初めて麻酔による手術が行われた日です。歯の治療や外科手術などをする時、痛みを感じないように麻酔が使われます。しかし、麻酔が開発されるまでは、手術が必要な患者は痛みを堪えるしかなく、手術は最後の手段でした。手術が無事に終わっても、出血多量や感染症、痛みによるショックで亡くなる患者も少なくありませんでした。

米国や欧州で麻酔の研究が始まったのは、19世紀になってからですが、それより40年も前の江戸時代後期の日本です。全身麻酔による外科手術が成功していました。この手術を行ったのは、外科医の華岡青洲(はなおかせいしゅう)でした。

青洲は1760年(宝暦10年)



に生れ、紀伊国(今の和歌山県)で医師をしていた父から医学を学んだのち、京都で漢方と蘭学を学びます。外科医を目指す。そして、病気や傷のある部分に薬を塗ったり、腫ものの先をメスで切ったりする程度で、本格的な手術は行われていませんでした。

その後、実家に戻った青洲は、麻酔薬の研究を始めました。薬の実験台になったのは母は亡くなりました。妻も目が見えなくなりました。それでも青洲は研究を続け、ついにマンダラゲ(チヨウセンアサガオ)から採った成分で「通仙散(つうせんさん)」という麻酔薬を開発します。

1804年(文化元年)10月13日、青洲はこの麻酔薬を乳がんの女性に用いて、全身麻酔による乳がんを摘出する手術を初めて成功させました。その後、青洲が「通仙散(つうせんさん)」の麻酔で行った手術は、乳がんだけでなく、150例もあると言われています。

明治時代になり、西洋からクロホルムなどの麻酔が伝わり、「通仙散(つうせんさん)」は使われなくなり、青洲は日本の医学

界に多大な影響を及ぼしました。

今日も一日、皆が笑顔で楽しく過ごせば幸いです。ご清聴ありがとうございます。

10月13日「麻酔の日」



米山月間電話

「第2760地区」

米山奨学事業について

地区米山記念奨学委員会

池田 直樹さん

(刈谷RC)

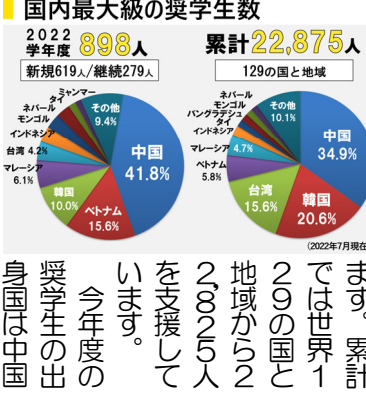
名古屋大須ロータリークラブの皆様には口頭よりロータリー米山記念奨学事業にご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

米山記念奨学事業は諸先輩方もご存知のように、日本全国34地区のロータリークラブの合同活動による日本独自の事業です。その主な概要は、日本で学ぶ外国人留学生を世話クラブ・カウンセラー制度

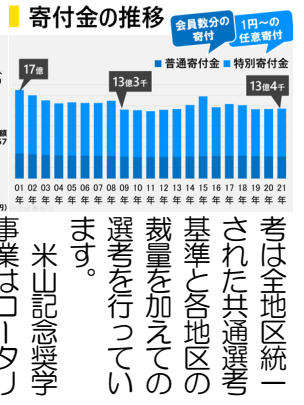


により交流を重視して支援活動を行うことです。2007年11月にロータリー米山記念奨学委員会（RIF）の定める多地区合同活動として、すべての手続きを完了しております。

米山記念奨学金は外国人留学生を対象とする民間の奨学金では国内最大規模です。2022学年度は、日本全国で898人（前年度910人）、うち276地区では53人（前年度54人）が採用され、各ロータリークラブでお世話をいただいています。累計では世界129の国と地域から22,875人を支援しています。



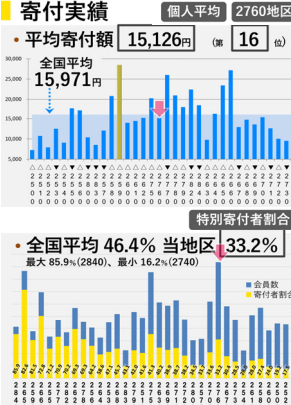
国内最大級の奨学生数
2022学年度 898人
新規619人/継続279人
累計22,875人
129の国と地域



ご寄付は奨学事業に
・寄付はその前年とほぼ同額
寄付金総額：13億4,579万円
普通寄付金 414,615
特別寄付金 931,176
事業費計：14億4,510万円
奨学金 1,242,958
補助金 202,141
当期正味増減額 19,067
配当金 124,820
剰余金 34,020
全体支出の97%が事業費

考は全地区統一された共通選考基準と各地区の裁量を加えての選考を行っています。米山記念奨学事業はロータリーさんの皆さんのご寄付から成り立っています。2001年以降では2001年の17億円をピークに近年では13〜14億円となっています。寄付金にはクラブから会員数分を納める普通寄付金と、それ以外に個人・法人・クラブから、任意で支援していただく「特別寄付金」の2種類があります。

2760地区の個人平均寄付額は15,126円（全国平均15,971円）で34地区中16位です。【名古屋大須RC：11,372円】特別寄付者割合は全国平均46.4%に対して2760地区は33.2%



となっております。【名古屋大須RC：15.7%】ちなみにトップは2840地区の85.9%です。米山記念奨学生から米山学友に。そして学友からロータリアンになる人も存在します。また、東日本大震災の時は国内外の学友から760万円、熱海土砂災害の時は150万円の義援金が贈られました。最後に、名古屋大須ロータリークラブの皆様には本年度も前年度以上に支援賜ります様、よろしくお願い申し上げます。



10月27日（木）例会の案内

例会変更 10月31日（月）

名古屋中・大須・栄合同

ガバナー公式訪問

於名古屋観光ホテル

ガバナー 籠橋 美久さん

地区幹事 岩月 雅章さん

(名古屋中RC)

*クラブ会費幹事懇談会

11時30分〜12時10分

於3F桃の間

*名古屋大須RC理事会

13時35分〜15時00分

於2F旭の間

11月3日（木）例会の案内

法定休日（文化の日）

11月10日（木）例会の案内

例会変更 地区大会第2日目

大会第1日目 11月12日（土）

於名古屋観光ホテル

本会議：受付14時30分

開会15時00分 閉会16時00分

大会第2日目 11月13日（日）

於愛知県国際展示場

Aichi Sky Expo

友愛の広場：12時00分

本会議：受付12時00分

開会13時00分 閉会16時30分

記念講演（大会第2日目）

「2050年カーボンニュートラル実現を目指して〜水素社会実現への取組み〜」

講師：内山田竹志氏



「トヨタ自動車株式会社取締役会長」

11月17日（木）例会の案内

ロータリー財団電話

「ロータリー財団を活用しよう」

地区グローバル奨学生・平和フェロー委員会副委員長

田中 如以さん

(名古屋丸の内RC)

公共イメージ向上委員会

木村 光徳・近藤宏一郎

荻原 賢一・藤田 徹

*本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。